



ニッシーちゃん

01 浜寺石津校区

日本で一番古い えびす神社

蛭子命漂着の地



石津太神社発祥の地(いわつたじんじやはしゅうのち) [B-2]

蛭子命が漂着したとされる。石津太神社の祭神として、神代巻の由来は、石津太(ひる)のこみこが三歳の時、葦船に乗せられ流され漂着したのがこの石津の浜であった。

五色の石 [C-2]

えびす神の漂着を再現する火渡神事



やっさいほっさい 昭和三〇年 年代半ば頃からは、臨海工業地の理め立てが始まり、堺の製造業地区へと発展した。 紀州街道沿い



横寝地藏 [C-2] 赤い布の向こうに横倒しになった珍しい地藏尊

02 浜寺校区

浜寺の地名

二天國師が建てた大雄寺が後に浜の寺と呼ばれたことに由来する。國師の名は、今でも三光松や三光橋として浜寺に残っている。



三光松の石標 [B-3]

東郷平八郎が 謹書した記念碑

昭和天皇御休息の地

浜寺は、昭和天皇が皇太子時代にご休息に立ち寄られた地でもあり、その記念碑が浜寺小学校の校庭にも現存している。記念碑の書は、元帥侯爵であった東郷平八郎が謹書した。

時代が昭和になると、浜寺は海水浴ができる別荘地として、多くの人々が住み始めるようになった。浜寺の海岸は、昭和三〇年代半ば頃から臨海工業地帯の埋立てにより失われてしまったが、白砂青松の美しい海岸の姿は、「諏訪ノ森」のランドスケープに、その光景を偲ぶことが出来る。



東宮殿下啓記念碑 [C-3]

04 浜寺昭和校区

100年の歴史を誇る駅舎

浜寺公園駅舎

明治四〇年辰野金吾氏が所属した辰野片岡建築事務所的设计により完成した建造物で、幾何学模様の外装や柱の形状など特徴的な外観である。平成二九年に曳家移動し、平成三〇年四月にカフェやライブラリーを備えたギャラリーに生まれ変わった。



浜寺公園駅舎 [国登録有形文化財] [B-4]

線路沿いのお散歩コース

閑静な住宅が建ち並び浜寺昭和町の広くまっすぐな本道には、古くは桜並木が続き、桜道と呼ばれてきた。現在は、桜並木はないが、現在は阪堺線の線路沿いにプロムナード(地域会館前)桜並木が整理され、地域のみどころとなっている。



プロムナード [B-3]

07 津久野校区

義経休息の地

津久野の旧標記である路尾(つこの)の地名の由来は諸説あるが、反正、仁徳朝の三御陵の南真真正面に位置し、朝に夕に眺つてくまひ拝していたところから路尾(つこの)とよばれるようになったとされている。約一四〇年前は堺東大鳥郡路尾村が後に大府郡北郡路尾村となり、大字路尾東(中西)宮山と字神野、字下田に分かれていた。このことは今なお地車曳行(だんじり)といふ(六地区)の組として残っている。昭和七年堺市編入合併の際に阪和線の南東側に路尾本町、線北西側に路尾宮本町とした。阪和電鉄が南海にその後国鉄に買収されて昭和五年に同地開業に伴って新駅ができたことになり、路尾は当時当用漢字にないことから津久野駅と言ふ名にすることになった。また昭和三九年三月に駅前区画整理事業で駅前津久野町丁、路尾本町は津久野町丁、路尾宮本町は津久野町三丁目町名が変更された。



義経腰かけ石 [D-3]

路尾八幡神社(別名勝駒神社)

創建は古く、八五〇/八五七年に現社地に本殿を建て、善田別命(心神天皇)を祀つたのが起源とされている。源平争乱時に、源義経が八幡(現屋敷)に渡る途中暴風に遭い、家来の武蔵坊弁慶を連れて路尾に避難し、同社に馬鞍を奉納し武運長久を祈願した。その時に義経が休憩時に腰を掛けたとはいへられる「義経腰かけ石」が境内に残されている。

川のない橋

万年橋の下を旧石津川が流れていたが、どんな橋をかけても氾濫の度に橋が崩れていった。そこで昭和七年に地元が協力し全道でもクロー吊り橋を作りに上げた。その後津久野駅裏の開発により旧石津川の改修が進み、万年橋は川の無い橋となったが、歴史の証として橋を残すこととなった。

白鳥となつてこの地に降りた

やまとたけのみこと 日本武尊の魂が白鳥となつてこの地に降りた



白鳥となつてこの地に降りた

08 上野芝校区

日本でも3番目の 巨大前方後円墳

上野芝の南端に位置し、昭和四年の阪和電鉄開通後は、帝塚山、浜寺と並び船場商人達の邸宅を中心に良好な住宅地として今に至っている。



履中天皇陵古墳 [E-2]

履中天皇陵古墳

シンボルの存在である履中天皇陵(巨原南陵)は二帝陵の一つであり、周辺の遊歩道は景色が大変美しいものである。また、現在は住宅地となつてしまったが、大塚山古墳(上野芝)四丁公園(昭和三〇年頃)に三笠宮殿下御一行が視察に訪れたことがあるもので、かつて上野芝に多くの帝陵が存在していたことがわかる。

情景豊かな四季を 織り成す哲学の道 お薦めお散歩コース

昭和五年に阪和電鉄により上野芝駅南側に開発され、閑静な住宅街が建ち並んでいる。まちなシンボルとしては月見橋と守屋池がある。月見橋は駅から向ヶ丘丘に向かう玄関口と言ふ位置にあり、昔は両側に歩道があり、桜が植えられていた。花見の季節や夏の夜の花火などで大いに賑わったと言われる。

09 向ヶ丘校区

守屋池は町の中心にあり、もとは農業用灌漑用水池であった。守屋の名は、家原寺にかつて三六支坊のつとに由来的なと言われている。



守屋池 [E-3]

10 家原寺校区

名僧行基が誕生した場所

昭和三年頃より開発が進み、公団住宅や戸建て住宅が立ち並び街並みが整理された。家原寺の地名は奈良時代の名僧行基がここに建てた家原寺の寺名をとってつけられた。諸説あるが、行基が自分の母の家をもとに寺を建てたことから家原寺と言われている。



家原寺西側曲輪(むら)跡に家原寺の碑が建ち、そこから道路を挟んだ所に家原寺跡跡である古城公園がある。

11 平岡校区

西区の東南に位置し、かつては雑木林や竹藪の中にため池が点在する、なかなか丘陵地帯で、狸、兎も見られる自然豊かな地であった。昭和三〇年代の旧住宅団地の開発や高層集合住宅の建設、昭和四〇年代前半の泉北二号線の開通により、急速な都市化が進み、長らく変遷し、高度成長期に現在の市街地となったが、新住宅地の中心に八丁村時代の旧家も残り、なかなか秀麗な今に残っている。

お伊勢参り 見送りの地

西区の東南に位置し、かつては雑木林や竹藪の中にため池が点在する、なかなか丘陵地帯で、狸、兎も見られる自然豊かな地であった。昭和三〇年代の旧住宅団地の開発や高層集合住宅の建設、昭和四〇年代前半の泉北二号線の開通により、急速な都市化が進み、長らく変遷し、高度成長期に現在の市街地となったが、新住宅地の中心に八丁村時代の旧家も残り、なかなか秀麗な今に残っている。



伊勢路川 [E-4]

12 福泉校区

田園と 神社仏閣の地

西区でも広大な面積を誇る校区で、その広さは甲子園球場の百倍以上と言われている。堺市で五指に入るほど水田が多い地域で、昔懐かしい田園風景と大小約二十の池、農耕・穀物に関する神を祀る神社仏閣等に溢れているのが特徴である。なかでも高僧行基が開いたと伝えられるものが多くあり、神社仏閣では太平寺や行興寺が挙げられ、元禄池もその一つと言われている。元禄池の広い水面からは幻想的な雰囲気すら感じられる。



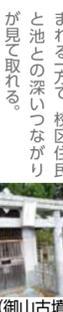
右堂堂六地藏 [D-6] また、原田運池(宮池)には二基の石灯ろうが設置されているが、これは原田地区内にあるた熊野神社を日

13 福泉東校区

明治三年頃の寺子屋 郷学校時代を経て、泉北郡鶴田村から昭和〇年の合併で福泉町に地名が変わったと伝えられており、昭和三六年堺市と合併後、堺市草部と言ふ地名に改められた。古くから田園と山村、石津川に囲まれた自然豊かな風景であった。昭和四〇年代後半から都市開発がスタートし、専業主婦住宅の建設が次第に、市営住宅、商業住宅や公団住宅と、次第に同地として高層住宅の建設が整備され入居がはじまった。賑わいのある町としての生活がはじまり、かつて基幹道路として北二号線が整備され山村風景は様変わりした。更に昭和五六年福泉東小学校が開校し福泉東校区として誕生した。

桜並木の散策路

福泉東校区には、四十余年の歴史を持つ浄土真宗本願寺派に属している青陽山生蓮寺や、阿弥陀寺、如意輪寺、延命地藏菩薩を境内に安置している浄土宗浄明庵がある。

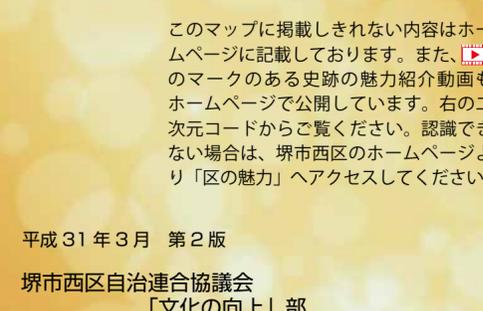


阿弥陀堂 [E-7]

14 福泉上校区

聖徳太子が 教えた箕の製法

上村かむらは農業・畜産を副業として、わずか十八戸の小集落から始まったとされ、實は聖徳太子が四天王寺を建立する五三三年頃、村民の建立時の協力や奉仕に対して、その製法(天子眞)技術を教えたと言われている。そしてかむらの地名も、太子がこの地を訪ねた際に風光明媚なこの地を賞賛され、美しい優れている等の意味のある字二佳を冠して「かむら」と呼ばれるようになった。その後、上様から授けられた村として村の名を「かむら」とし、この村の名の由来と言われている。この村も八四〇年には、家の数も四八戸に増え、人口六五七人、牛十九頭を所有するまでになったと言われている。



浄土寺 [D-6] また、五穀豊穣の感謝と祈りを込めて行われている秋祭り(おぼろ)に寄る住民の篤き思いを込めた上村の鶏鳴だんじりも設置されている。

うるおいと やすらぎのまち

福泉上校区には、四十余年の歴史を持つ浄土真宗本願寺派に属している青陽山生蓮寺や、阿弥陀寺、如意輪寺、延命地藏菩薩を境内に安置している浄土宗浄明庵がある。



浄土寺 [D-6]

SAKAI CITY NISHI-KU

堺市西区散策マップ



石津太神社 [C-2]



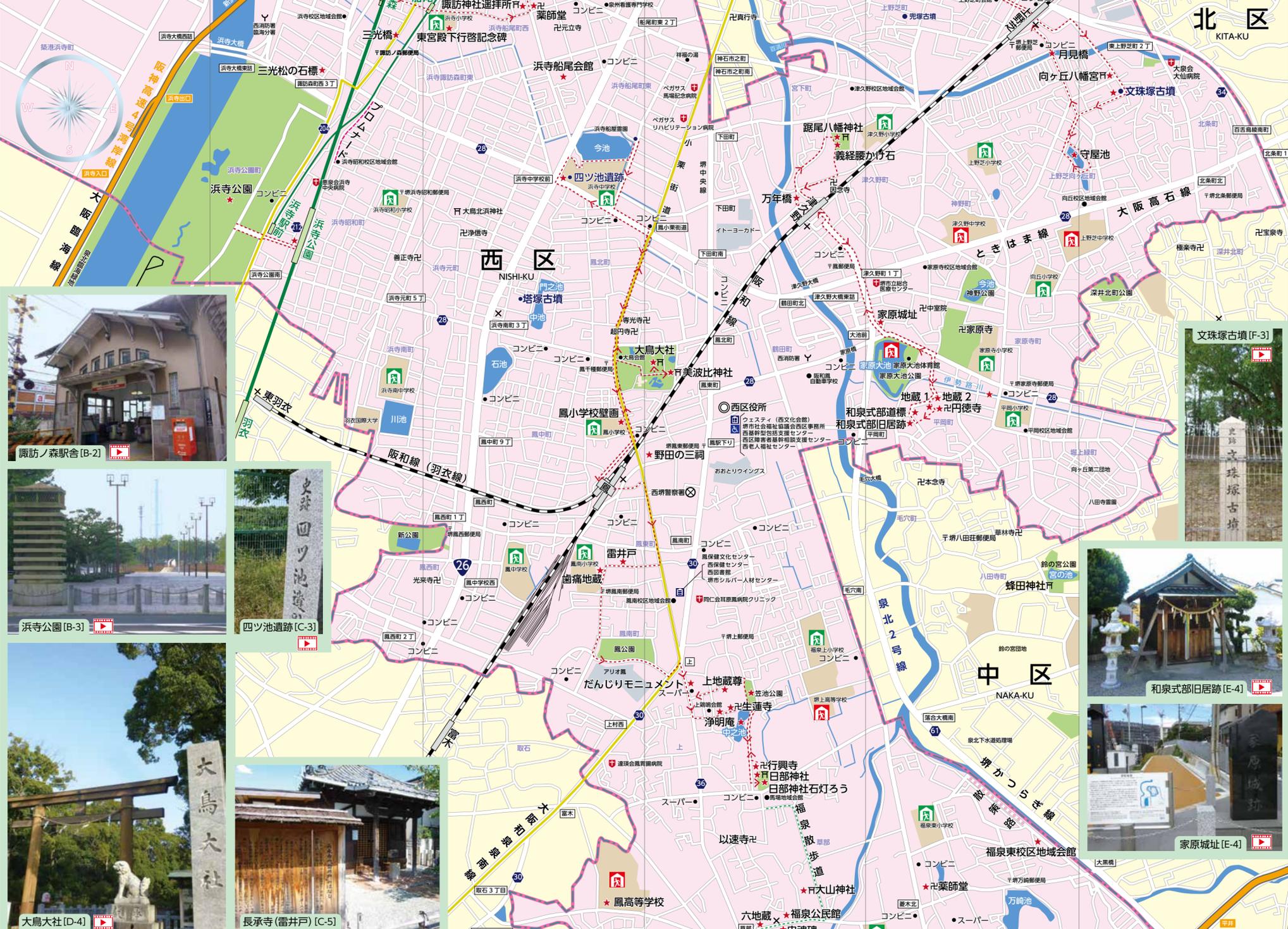
石津太神社 [C-2]



北畠顕家碑 [C-2]



大塚山古墳跡 [E-2]



諏訪ノ森駅舎 [B-2]



浜寺公園 [B-3]



四ツ池遺跡 [C-3]



大鳥大社 [D-4]



長承寺 [C-5]



和泉式部旧居跡 [E-4]



家原城址 [E-4]

- ### 紀州街道沿いと駅舎を巡るコース
- 諏訪ノ森駅
 - 東宮殿下行啓記念碑 (浜寺小学校内)
 - 諏訪神社遷拝所
 - 薬師堂
 - 北畠顕家碑
 - 五色の石
 - 石津太神社
 - 横塚地蔵
 - 石津太神社 発祥の地
 - 諏訪ノ森
 - 浜寺公園駅
 - 浜寺公園
 - 浜寺公園駅

- ### 行基ゆかりの地と古墳を巡るコース
- 津久野駅
 - 万年橋
 - 大塚山古墳跡
 - 履尾八幡神社
 - 家原城址
 - 円徳寺
 - 和泉式部旧居跡
 - 津久野駅
 - 上野芝駅
 - 大塚山古墳跡
 - 履尾八幡宮
 - 文珠塚古墳
 - 守屋池
 - 月見橋
 - 上野芝駅

- ### 小栗街道沿いと寺社を巡るコース
- 鳳駅
 - 鳳小学校壁画
 - 大鳥大社
 - 美波比神社
 - 四ツ池遺跡
 - 長承寺 (雷井戸)
 - 歯痛地蔵
 - 浄明庵
 - 生蓮寺
 - 行興寺
 - 日部神社
 - 鳳駅



上地蔵尊 [D-5]



福泉東校区地域会館 [E-6]



日部神社 [D-6]



家原城址 [E-4]



家原城址 [E-4]



家原城址 [E-4]



家原城址 [E-4]



家原城址 [E-4]